

## 第8回 インターベンション講習会を開催

去る2月20日(土)に昭和大学を会場に第8回インターベンション講習会を開催しました。講師には本講習会ではお馴染みの、昭和大学病院循環器内科の濱寄先生と北里大学病院循環器内科の東條先生をお迎えしました。

開講式では濱寄先生より「山梨大学さん所有の高価なシミュレーターをお借りして経験のできる大変貴重な機会であるため、是非とも多くの時間、機械に触れて実践感覚を身に付けてください」とご挨拶をいただき、参加者自己紹介の後、早速、実習を開始しました。

シミュレーターは実際の人体に触れているような感覚ということで、受講生の先生はもちろんですが、なれている講師の先生お二人も「これはやはり凄いシミュレーター！」と改めて驚かれています。

実際の症例に基づく訓練をいざ開始すると、本当にリアルな感触ということもあり、機械を相手にしているとは思えない真剣な表情で実習を行っていました。

想定患者さんを助けることが出来た際には、歓声があがったりと、緊張感の中にもリラックスしながらのとても良い雰囲気です。

最後に、今回、8回目にして初の試みとなる受講生全員による指定症例をいかに早く、正確に治療するかを競うタイムトライアルを実施しました。(治療を勝負としてはいけませんが、あくまでも、技術修練のため)

他の先生がタイムトライアル中にも、もう1台のシミュレーターで熱心に実習されていて、先生方の向上心には大変感心いたしました。

閉講式では、講師の先生お二人から「この貴重な経験を活かして、実際の治療に活かしてほしい。この様な有意義な機会を提供いただいた5大学連携 FUJIYAMA-NET に感謝するとともに、是非また開催いただくことを願います。」

「この様な機会を多く設け、循環器内科医が多く育成されることを願っている。」と講評をいただきました。

受講生からも「いろいろな症例を経験でき大変勉強になった。今後もこの様な機会を設けていただきたい。」

「現在、研修医で循環器を回っているが、インターベンションは初めてであり、今後の良い経験となった」

「普段、同じ分野でも他大学の先生とはこのように接する機会が無いので、各大学の実践

方式等が意見交換でき、交流ができたことは大変良かった」等、大変高評価をいただき、主催側としては嬉しい限りでありました。

今回、シミュレーター1台あたりの人員数や時間配分について主催側でも確認ができ、また、タイムトライアルについても実際の様子があったため、今回の経験を活かして次年度は更に有意義な講習会となるように考えたいと思いました。

土曜日のお忙しいところ、ご協力いただいた濱寄先生、東條先生、また、早朝より準備に協力いただいた聖マリアンナの関さん、会場を提供いただいた昭和大学様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。